

【地理教育方法・評価演習（地歴科）】

1. 授業計画

日程	火曜日2限(10:30~12:00) K116	ねらい
展開① 授業分析論	第1講 10/04 オリエンテーション ・「地理教育方法・評価演習」のねらい、授業計画 ・優れた教材、意義ある活用の方法とはどういうものか	(1) - 1 教材に機能に注目して、他者が実践した社会科授業の特質と課題を説明できる。 (1) - 2 教材の機能と活用法を分類し、説明できる
	第2講 10/25★ 教材活用の事例分析(1) ・坂田実践「たんけん隊、駅前町へ」 ・概念の相互作用的な構築過程—構築主義—	
	第3講 11/1★ 教材活用の事例分析(2) ・佐藤実践「スーパーマーケットのひみつ」 ・概念の事実整合的な形成過程—実証主義—	
	第4講 11/8 社会認識形成における教材の機能 ・主観的創造的な思考の産物、客観的分析的な思考の対象 ・経験の省察と表現、知識の批判と探求	
展開② 授業開発論	第5講 11/15★ 説明的教材を活用した授業開発(1) ・「中国とアフリカ」における風刺画・詩歌の活用 ・「ユーゴスラビア建国」における構造図、解説文の活用	(2) - 1 教材の機能を活かして、自ら社会科授業を開発し、その授業を効果的に実践できる (2) - 2 教材の機能を踏まえた発問・指示のストラテジーを体系化できる。
	第6講 11/22 説明的教材を活用した授業開発(2) ・メタファー、モデルを活用させる指示・発問 ・社会を説明した仮説を吟味、一般化させるために	
	第7講 11/29★ 記述的教材を活用した授業開発(1) ・「石山合戦」における画像・映像・物語の活用 ・「日本のODA」における統計・地図・記事の活用	
	第8講 12/6 記述的教材を活用した授業開発(2) ・データ、物語を読解させる指示・発問 ・社会を説明する仮説をつくり、修正させるために	
	第9講 12/13★ 体験的教材を活用した授業開発(1) ・「貿易ゲーム」におけるシミュレーションゲームの活用 ・「駅前フィールドワーク」における調査・見学活動の活用	
	第10講 12/20 体験的教材を活用した授業開発(2) ・身体活動を省察させる指示・発問 ・社会を説明する仮説づくりの基礎を体得させるために	
	第11講 1/17★ 教材批判を組み込んだ授業開発(1) ・「プロジェクトX」に描かれていること/いないこと ・「地形図」に描かれていること/いないこと	
	第12講 1/24 教材批判を組み込んだ授業開発(2) ・制作の目的と、そこに働く権力作用を理解させるために ・読解の意味と、それが及ぼす心的影響を分析させるために	
展開③ 評価論	第13講 1/31★ 授業改善の目的と方法(1) —ケッスンスタディーの方法論 ・「郷土の開発(向山周慶)」の改善の視点と方法 ・内在的批判の方法、外在的批判の方法	(3) - 1 教材活用の視点から、実際の授業を検討し、改善案を提起できる (3) - 2 授業改善の視点と方法論を習得できる。
	第14講 2/7★ 授業改善の目的と方法(2) —アクションリサーチの方法論 ・「スーパーマーケットの秘密」の改善の視点と方法 ・工学的専門家の条件、反省的実践家の条件	

※ 10月11日、10月18日は、実習期間のため、休講とします。

2. 授業の形式

本授業のスタイルは「演習」である。徹底してケーススタディーを行います。

- ・ 展開1では、実際の授業映像や学習材を、じっくりと読み解きます
- ・ 展開2では、さまざまな教材をもちいて、授業を構想したり、実演したりします。
- ・ 展開3では、授業改善の手立てとその目的を、具体的に検討します。

なお、本演習が、教員採用試験の模擬授業対策としても役立つように配慮します。

3. 評価の基準

- ・ ★：グループワーク or 予習課題 …… 8割

10点満点×8回を基準に、評価します。

授業の中での発表、予習課題への取り組み、成果のプレゼンなど、主体的な表現活動を求めます。

- ・ 出席及び参加状況 …… 2割

積極的に発言・行動し、授業に貢献したと見なされる受講生には、大きく加点します。

- ・ 授業の性格上、特段の理由なき欠席は認めません。5回以上の欠席者は、単位を認めないことがあります。

4. 連絡先

- ・ 質問：A404 研究室に在室していれば、原則として受け付けます。ただし、事前にメールでアポを取ってくれると助かります。 kusahara@hiroshima-u.ac.jp
- ・ サポート：グループワークや指導案づくりは、TAの後藤賢次郎さんがサポートします。
- ・ 課題提出：発表資料の提出は、Web CTを活用します。詳しくは、別途指示をします。
- ・ ホームページ：<http://home.hiroshima-u.ac.jp/kusahara/kusalab/>

5. 参考文献

- ・ 社会認識教育学会編『社会科教育のニュー・パースペクティブー変革と提案ー』明治図書、2003年。とくに吉川論文、福田論文、谷口論文を参照せよ。
- ・ 社会認識教育学会編『社会認識教育の構造改革ーニュー・パースペクティブにもとづく授業開発ー』明治図書、2006年。とくに吉川論文、伊藤論文、山田論文を参照せよ。
- ・ 森分孝治『現代社会科授業理論』明治図書、1984年。とくに第三章を参照せよ。
- ・ 代表者 岩田一彦『学習材としての社会科教科書の機能とその活用』財団法人教科書研究センター 研究助成、研究成果報告書、2008年。とくに草原論文を参照せよ。